配線のしかた

手順 1. 配線をする前に

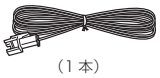
■ 配線タイプの場合

下記内容物を準備してください。

2.5φミニジャックコード

（1 本）

パーキングケーブル



（1 本）

セルフロックコネクター

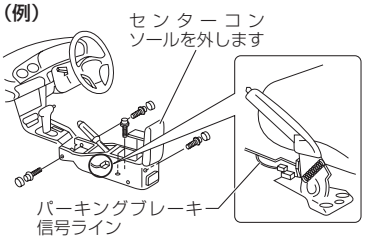
（1 個）

クランパー

（3 個）

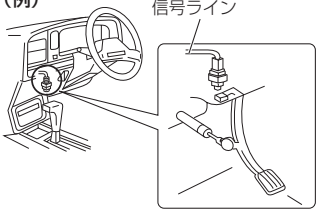
● パーキングブレーキがハンドブレーキの場合

（例）



● パーキングブレーキがフットブレーキの場合

（例）



※車種によって異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店またはカーディーラーにご相談ください。

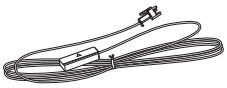
■ マグネットタイプの場合

下記内容物を準備してください。

2.5φミニジャックコード

（1 本）

リードスイッチ付コード



（1 本）

クランパー

（3 個）

マグネット

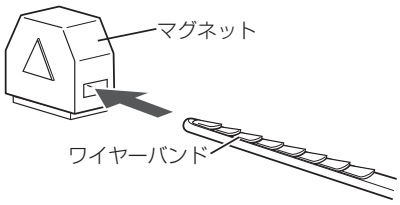
（1 個）

ワイヤーバンド

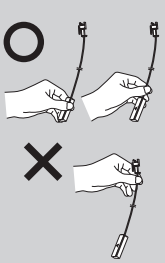
（1 本）

※リードスイッチ付コードのスイッチと、マグネットの距離が3 mm以上離れる場合は、
「■ 配線タイプの場合 」(上記)の方法で配線してください。

① マグネットにワイヤーバンドをとおす。

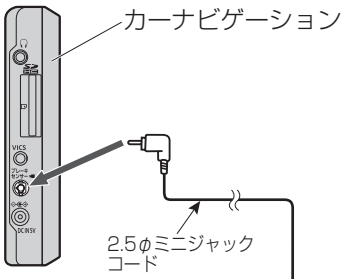


お願い
- マグネット／スイッチ部分に水分などがかからないようにしてください。故障の原因となります。
- シフトレバー側マグネットは磁気を帯びていますので時計や磁気カードなどを近づけないでください。
  ※時計や磁気カードが故障したり、使用できなくなることがあります。
- スイッチは強い衝撃を与えると正常に作動しなくなることがあります。
  取付時は以下の点に注意して大切に取り扱ってください。
  ・スイッチを硬いところにぶつけたりしないでください。
  ・スイッチを持って作業を行ってください。
  ・やむを得ずコードを持つ時は、可能な限りスイッチに近い部分を持ってください。

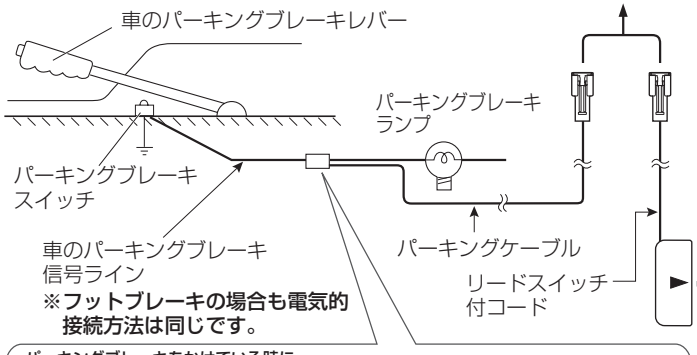


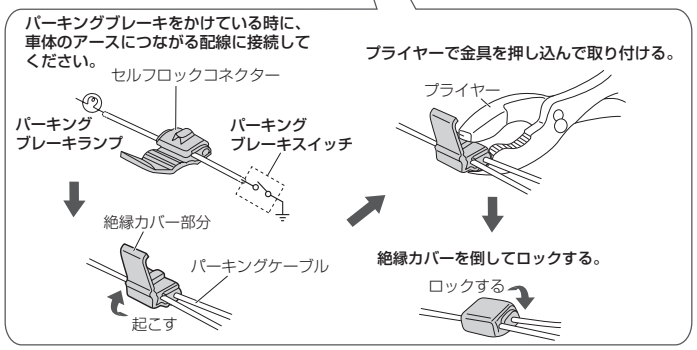
手順 2. 配線する

お願い パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するときは、パーキングブレーキをかけてエンジンを切ってから行ってください。車が動いて、事故の原因になります。



■ 配線タイプの場合



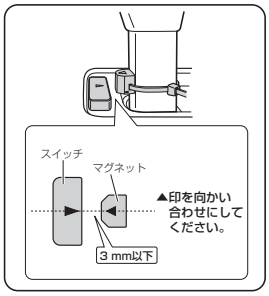


■ マグネットタイプの場合

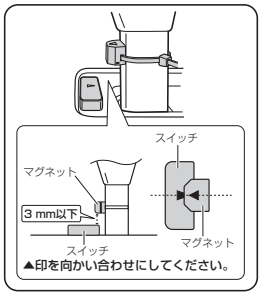
※車のシフトレバーをパーキング(P)の位置にしてから取り付けてください。

① マグネットとスイッチの取り付け位置について

□ シフトレバーの下側に取り付けるとき

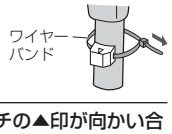


□ シフトレバーの上側に取り付けるとき

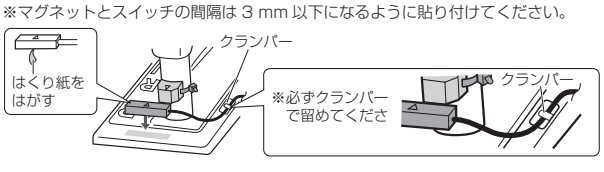


② シフトレバーをパーキング (P) の位置にし、マグネットのはくり紙をはがしてシフトレバーに貼り付ける。

③ マグネットにとおしているワイヤーバンドでしっかりと締める。



※締めたあと、ワイヤーバンドが長すぎた場合は、はさみなどで切ってください。

④ スイッチのはくり紙をはがし、マグネットの▲印とスイッチの▲印が向かい合わせになるように貼り付ける。

※マグネットとスイッチの間隔は 3 mm 以下になるように貼り付けてください。